

完璧主義と穢れの意識が中古品の購買行動に与える影響

小笠原えり^a 小澤正嗣^b 楠木悠輔^c

要約

本研究では中古品の購買行動に着目し、「完璧主義の傾向が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」、「穢れの意識が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」という2つの研究仮説を立てた。Google Form で主に大学生を対象に行ったアンケート調査で得られた109件の有効回答について単回帰分析を行った結果、片側検定の5%水準で、125本の単回帰分析のうち仮説と整合的で有意な結果が31本得られた。

JEL 分類番号：D9

キーワード：完璧主義, 穢れの意識, 中古品

1. イントロダクション

1.1. 序文

バブル経済崩壊後、小売業の弱体化や人口減少によって「モノが余る」ようになった日本では、リユース・リサイクル市場の顕著な拡大がみられた。近年ではメルカリに代表されるようなフリマアプリの台頭や、Amazon や楽天などの EC チャンネルの利用増加に伴い中古品市場は拡大を続けている。さらに SDGs が追い風となり、中古品を再利用する循環型の社会へとシフトしつつあると言え、特に若年層を中心に中古品の利用が増加している。しかしながら、中古品をほとんど利用しない人たちがいるのもまた事実であり、価値が十分にあるにもかかわらず廃棄されてしまう商品が数多く存在している。

そこで我々は「どのような人が中古品を買わないのか」を明らかにすることで、今後の中古品市場のさらなる拡大や循環型社会の実現に寄与できると考え、中古品を避ける要因として完璧主義と穢れの意識の2つの世界観を考えた。ここで世界観とは、「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質に関する認識、感情、判断に関する基礎的な過程と枠組み」(Hiebert, 2008 の邦訳, 大垣・田中, 2018, p.210)と定義する。

1.2. 研究仮説

^a 慶應義塾大学 経済学部 eri.ogasawara@keio.jp

^b 慶應義塾大学 経済学部 seijiozawa2020@keio.jp

^c 慶應義塾大学 経済学部 kabu.0506@keio.jp

本研究では以下の2つの研究仮説を立てた。

研究仮説 I	完璧主義の傾向が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い
研究仮説 II	穢れの意識が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い

研究仮説 I で用いる「完璧主義」を「万全な状態への努力を欠かさず、過度に高い目標・理想を設定する」世界観とし、大谷・桜井（1997）による分類を参考に、①自己指向型、②社会規定型、③他者指向型の3つに分類する。

①は「自分に高い基準を設け、それを達成することに高い価値を置き、達成できないと失敗と思いこんで自分を責め、自己評価を下げる傾向がある。また自分は完璧な人間であると惚れ込む傾向がある。従己に高い目標を設定し、常にその目標を達成しようと一生懸命努力する」と説明される。②は「自分の行動に対する他者の評価を気にするので、…他者から求められている基準を達成できないと、自分の能力のなさを感じ自己批判する」と説明される。③は「周囲の者に対して完璧な行動を求める」と説明される。なお、いずれの定義も大谷・桜井(1997)のものを引用した。

完璧主義の度合いが強いほど、商品への完全性を求めるために中古品への支払い意欲が低くなるのではないかと考え、これを研究仮説 I とした。また、分離した3つの完璧主義のうち、①自己指向型と②社会規定型の2つの完璧主義が中古品の購買行動に特に影響を与えているのではないかと考えた。

①では、自身の抱く理想に少しでも近づきたいという考えがあり、自身は完璧な人間であると惚れ込む傾向があることから、中古品よりも新品を好んで購入する傾向があるのではないかと考える。②では、自身に対する他者からの評価を気にし、自分の見栄えや体裁を重視する傾向があることから、同様に中古品よりも新品を好んで購入する傾向があるのではないかと考える。

研究仮説 II で用いる「穢れ」を「出産、死、月経、あるいは動物食をはじめとする異常食事などによって、当事者及びその関係者に付与される異常状況」（ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典）とし、「穢れの意識」はそれを忌避する意識を指すものとする。

穢れの意識が強いほど、他人が使用した中古品の利用を避けるのではないかと考え、これを研究仮説 II とした。

1.3. 研究意義

日本では鎌倉時代から「質屋」が存在し、江戸時代には様々な商品がリユース・リサイクルされる循環型社会が実現された。日本固有の「もったいない」精神に基づき、商品を再使用、再利用しようとする姿勢は、はるか昔から日本人に根付いているのかもしれない。

バブル経済崩壊後から従来の小売業が弱体化し、人口が増加から減少へ傾き商品需要が頭打ちになった 2000 年前後に、中古品市場は本格的な拡大を見せた。2015 年の国連サミットでは SDGs が採択され、世界的にリユース・リサイクルを推進する流れが生じた。

価値ある廃棄物を減らし、リユース・リサイクルを推し進めることで循環型の社会を実現することは、都市廃棄物排出量が世界 4 位である日本にとって必須であると言える。

そこで我々は循環型の社会の実現に寄与すべく、中古品の利用を忌避する人々が持つ世界観の一部を明らかにする研究を行った。それらの世界観を明らかにし理解することで、中古品市場を拡大するための新たな取り組みの一助になるのではないかと考えている。

3. 研究方法

Google Form を利用してアンケートを作成し、完璧主義の度合いを測る質問①～⑩、穢れの意識の度合いを測る質問①～⑦、仲間外れの意識の度合いを測る質問①, ②, 個人の年収を問う質問, 中古品の購入行動を問う質問①～⑤の計 31 問を設け、これを LINE や Twitter 等の SNS を用いて拡散し、109 件の有効回答を得た。

アンケート内容について、世界観に関する質問はそれぞれ完璧主義、穢れの意識の度合いを測る質問であり、「全くそう思わない」を 1, 「非常にそう思う」を 6 として 6 段階の回答を作成した。数値が大きいほど完璧主義あるいは穢れの意識の度合いが強いと言える。完璧主義①～⑧は並木・野本・湯沢(2019, p.9)を、完璧主義⑨～⑩は大谷・桜井,(1997, p.181)を、それぞれ引用した。完璧主義①, ②は完璧主義全体の傾向を、③～⑥, ⑨～⑩は自己指向型の傾向を、⑦, ⑧, ⑪～⑩は社会規定型の傾向をそれぞれ問う質問である。

穢れの意識⑤, ⑥はアメリカの社会心理学者ジョナサン・ハイト(Jonathan Haidt)の著作『社会はなぜ左と右に分かれるのか』にあった思考実験を引用して用いた。仲間外れの意識①, ②は添付画像を見て回答してもらい、①では「パンダ」を 1, 「バナナ」を 2, 「サル」を 3 として数値化した。②では添付画像の通りに番号を 1～4 として回答してもらった。回帰分析の際には、これらの回答で得た数値を説明変数として扱った。

経済行動に関する質問は画像を用いてイメージを提示した上で、新品と中古品で見た目や機能が変わらないという前提のもと、新品と中古品のどちらを購入するのか、中古品を購入する場合はその支払い意欲を「いくらまでなら買うか」という形で回答してもらった。支払い意欲を適切に測るため、「新品を購入する場合」は 0 と回答してもらった。回帰分析の際には、これらの回答で得た数値を被説明変数として扱った。

上記の説明変数と被説明変数を用いて単回帰分析を、また所得効果の影響を排除した考察のために、個人の年収を問う質問をダミー変数として重回帰分析を行い統制を行った。

4. 研究結果

片側検定 5%水準で有意な結果が得られた単回帰分析は以下の通りである(表1)。数値は少数第4位を四捨五入した。

表1 単回帰分析

Case	被説明変数(経済行動)	説明変数(世界観、有意水準は片側検定で5%)	P値(両側検定)
1	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	完璧主義④：自分の欠点や悪いところを直そうと、努力を怠らないほうだ。 **	0.036**
2	経済行動③：中古品(参考書)のWTP	完璧主義④：自分の欠点や悪いところを直そうと、努力を怠らないほうだ。 **	0.084*
3	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	完璧主義⑤：目標はより高いレベルに設定し、一度決めたら必ずやり通す。 ***	0.003***
4	経済行動②：中古品(ネックレス)へのWTP	完璧主義⑤：目標はより高いレベルに設定し、一度決めたら必ずやり通す。 ***	0.004***
5	経済行動③：中古品(参考書)のWTP	完璧主義⑤：目標はより高いレベルに設定し、一度決めたら必ずやり通す。 **	0.063*
6	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	完璧主義⑨：どんなことでも完璧にやり遂げることが私のモットーである。 ***	0.015**
7	経済行動②：中古品(ネックレス)へのWTP	完璧主義⑨：どんなことでも完璧にやり遂げることが私のモットーである。 ***	0.002***
8	経済行動⑤：中古品(椅子)のWTP	完璧主義⑩：物事は常にうまくできていないと気が済まない。 **	0.026**
9	経済行動③：中古品(参考書)のWTP	完璧主義⑪：中途半端な出来では我慢できない。 **	0.063*
10	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	穢れ①：葬式に参加した際、清めの塩を使わずに家に上がる。 **	0.030**
11	経済行動②：中古品(ネックレス)へのWTP	穢れ①：葬式に参加した際、清めの塩を使わずに家に上がる。 ***	0.009***
12	経済行動②：中古品(ネックレス)へのWTP	穢れ②：事故物件(過去に自殺・死亡事故などがあった物件)に住む。 **	0.080*
13	経済行動④：中古品(衣服)のWTP	穢れ②：事故物件(過去に自殺・死亡事故などがあった物件)に住む。 ***	0.015**
14	経済行動⑤：中古品(椅子)のWTP	穢れ②：事故物件(過去に自殺・死亡事故などがあった物件)に住む。 **	0.088*
15	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	穢れ④：厄年にお祓いを受けない。 **	0.086*
16	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	穢れ⑤：ゴキブリが入ったジュースを飲むこと。 **	0.085*
17	経済行動②：中古品(ネックレス)へのWTP	穢れ⑤：ゴキブリが入ったジュースを飲むこと。 **	0.024**
18	経済行動④：中古品(衣服)のWTP	穢れ⑤：ゴキブリが入ったジュースを飲むこと。 ***	0.004***
19	経済行動①：中古品(財布)へのWTP	穢れ⑦：遺体にキスすること。 **	0.029**

20	経済行動②：中古品(ネックレス)への WTP	穢れ⑦：遺体にキスすること。 **	0.022**
21	経済行動③：中古品(参考書)の WTP	穢れ⑦：遺体にキスすること。 **	0.078*
22	経済行動④：中古品(衣服)の WTP	穢れ⑦：遺体にキスすること。 **	0.078*
23	経済行動⑤：中古品(椅子)の WTP	穢れ⑦：遺体にキスすること。 **	0.073*
24	経済行動①：中古品(財布)への WTP	仲間外れ①：直感で教えてください。次のうち、ひとつだけ仲間に入らないのは、どれですか？ 1つ選んでください。(バナナバンドサル) **	0.076*
25	経済行動②：中古品(ネックレス)への WTP	仲間外れ①：直感で教えてください。次のうち、ひとつだけ仲間に入らないのは、どれですか？ 1つ選んでください。(バナナバンドサル) **	0.045**
26	経済行動④：中古品(衣服)の WTP	仲間外れ②：直感で教えてください。ひとつだけ仲間に入らないのは、どれですか。1つ選んで番号で教えてください。(棒人間) **	0.043**

注 1：説明変数については片側検定で、***有意水準 2%,**有意水準 10%,*有意水準 20%で有意であることを表す。

注 2：P 値については両側検定で、***有意水準 1%,**有意水準 5%,*有意水準 10%で有意であることを表す。

5. 考察

5.1. 完璧主義が中古品の購買行動に与える影響についての考察

有意な結果が得られたのは、すべて自己指向型完璧主義の数値を説明変数としたものであり、社会規定型完璧主義では有意な結果が得られなかった。そのため、研究仮説 I の中でも特に「自己指向型完璧主義の傾向が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」と言える。前述したように、自己指向型完璧主義の傾向が強い人は自身の抱く理想に少しでも近づきたいという考えがあり、自身は完璧な人間であると惚れ込む傾向があることから、中古品よりも新品が購入にふさわしいと考えて購入する傾向があると考察する。

また、特に経済行動①、②について、32 本中 8 本の有意な結果が得られ、そのうち 4 本は 1%水準での有意性を示している。①はブランド品の財布、②はノーブランドのネックレスを購買の対象としており、④のユニクロの衣服に関する分析では有意な結果が得られなかったことを踏まえると、特に身に着ける装飾品について、自己指向型完璧主義が中古品への支払い意欲を下げていることが考えられる。これは理想に近づきたい気持ちが強く、装飾品を身に着ける機会も多く新品にこだわる傾向にあるのではないかと考えられる。

5.2. 穢れの意識が中古品の購買行動に与える影響についての考察

32 本の分析を行い、満遍なく有意な結果が得られたことで、研究仮説 II の通り「穢れの意識が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」と言える。これも前述したように、

他人が使用したことに「穢れ」感を強く覚え、中古品の利用を忌避する傾向があるのだと考察する。また、経済行動①、②、④について 21 本中 11 本の有意な結果が得られたことから、特に穢れの意識は身につける衣服や装飾品への支払い意欲を下げていると考えられ、これは穢れの意識が身体に纏うものや日用品に特に強く作用しており、穢れ感を感じる中古品を使用したくないと考える傾向があるのではないかを考察する。

6. おわりに

単回帰分析の結果、「完璧主義の傾向が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」という研究仮説 I に対して整合的かつ有意な結果が 80 本中 12 本得られた。また、「穢れの意識が強いほど中古品に対する支払い意欲が低い」という研究仮説 II に対して整合的かつ有意な結果が 35 本中 15 本得られた。ここでは片側分析による有意性の評価を行い、有意水準は 5%としている。研究仮説 I を支持する 12 本は全体の 15%、II を支持する 15 本は全体の 42.9%に当たり、研究仮説を支持する結果が得られたと言える。

また、相関関係が必ずしも因果関係を意味しないことにも注意されたい。世界観は大学入学段階でほとんど形成されていると考えられるため、経済行動が世界観に影響を与えている、という逆の因果関係があるとは考えにくい。例えば生まれ育った地域特有の文化などが世界観と経済行動に影響を与えており、それが欠落変数となるケースも考えられる。

そのような別の変数が中古品の購買行動に影響を与えている可能性を調べることや、店舗や EC チャンネル、フリマアプリなど中古品の購買ツールごとに分類して世界観との関係を改めて調べることなどが、今後の研究課題として挙げられる。

引用文献

公益社団法人 日本心理学会,1997. 桜井茂男,大谷佳子編,“自己実現に求める完全主義”と抑うつ傾向および絶望感との関係 1997.心理学研究, 東京.

大垣昌夫,田中沙織, 2018. 行動経済学新版, 有斐閣, 東京.

ブリタニカ・ジャパン株式会社, 2007. ブリタニカ国際大百科事典, ログヴィスタ, 東京.

並木大晟, 野本由麻, 湯沢恭子, 2019. 完璧主義がフリマアプリの活用に与える影響, 9.

ジョナサン・ハイト, 2014. 社会はなぜ左と右に分かれるのか, 紀伊国屋書店, 東京.